

## 挾間史談会誌 第四号発刊にあたって

会長 二宮修二

挾間史談会会誌『挾間史談』の第四号が発行されることになりました。本当におめでとうございます。これも皆様の協力の賜物だと感謝しています。

このような活動は、研究の同志が集まって、情報交換したり、他の人の研究の様子を知って、自分もやってみようかなと思ったり関心が高まり、調べてみようとする意欲がわくことが大切だと思います。そのような気持ちの働きによって会は継続できるのだと思います。調べて今まで分からなかった事が分かったりすると満足感が得られ、喜びとなります。

遠くから意欲を持って、この会に参加してくださる方に感謝をしますし、若い方も積極的に参加してください、有り難く思っています。

この会誌には、活動の様子がつづられていて、活動を振り返ることも出来ます。それで、会員の皆さん並びに会員以外の皆さんが、どのような記録や活動に魅力を感じるのか意見を出してくださると、魅力ある活動を組むことも出来ると思います。

前年度からの活動の中で、挾間の先人の選定した「挾間四国八十八箇所」や「南無大悲観世音菩薩挾間四国霊場（三十三）」を巡っての見学会は地域に結びついた活動で、地域を見直すよい機会であったと思います。

館外の研修として取り上げられた豊後大野市への研修は、皆さんの楽しみと気分転換そして歴史的視野を広めるのに有効な活動であったと思います。

今後は、これまでの活動を纏めるということと、「挾間と由布市の歴史」の特徴が分かるような課題を持つといいと思います。今後も会が充実して発展していくことを願っています。